

# 稼働率アップのレク・機能訓練・記録 通所介護&リハ

隔月刊誌 会員制・定期刊行物

2010 **5・6** 月号

新連載**12本**スタート!!

- 1 あーとレクリエーションプログラム
- 2 ウメさん見聞録  
通所サービスの質を高める  
ちょっとイイ話
- 3 移乗・移動介助のテクニク
- 4 認知症ケアの困難事例&  
通所サービス計画
- 5 生活マナーの常識・非常識
- 6 転倒予防・QOL向上に向けた  
高齢者の睡眠障害改善
- 7 介護の視点を生かした  
機能訓練計画&実践
- 8 拝見! 通所サービス記録の工夫
- 9 介護報酬・請求業務Q&A
- 10 通所サービス経営改善ビジネス論
- 11 高齢者の身体機能と生活を意識したケアの視点
- 12 認知症ケア必察トレーニング

効果を上げた  
3つの取り組みを紹介!  
忙しさからの脱却!

## 通所サービスの 業務改善





うめざわ よしひろ

**梅沢佳裕** 福祉と介護研究所 代表

1968年4月生まれ。東北福祉大学社会福祉学部卒業。介護専門学校で助教員を経て、特別養護老人ホーム・在宅介護支援センターの相談員を歴任し、デイサービス・グループホームの立ち上げを多数プロデュースする。その後、通所介護・居宅介護支援事業所の管理者を務める傍ら、「福祉と介護研究所」を設立。現在は独立し「福祉と介護研究所」の代表を務めている。介護士・相談員スキルアップ研修など多数の講演活動講師を行っている。主な著書に『施設職員のための介護記録の書き方』（雲母書房）。社会福祉士／介護支援専門員／福祉住環境コーディネーター2級福祉と介護研究所ホームページ <http://www.fukuken.org>

## 「頑張って」を見直そう

### ✿ 困難に直面している人に、 どんな声をかけていますか？

通所サービスに勤めている介護スタッフの皆さんは、困難に直面している利用者に対して、どんな声をかけていますか？ 多くの人は「頑張って」というような言葉が思い浮かぶのではないのでしょうか。それでは、自分がかじけそうになっている時に「頑張って」と言われたら、どうでしょうか？ もしかすると、少しきつい言葉に感じるかもしれません。

「ドンマイ」などの外来語を使用すると、「頑張って」よりもソフトな印象にすることはできますが、いずれにしても、利用者に対する声かけとしては不適切な気がします。

利用者と接する上で大切なこととして、「受容と共感」があります。この「受容と共感」は、介護に携わる方であれば、「言うのは簡単だけど、どれだけ奥深く難しいことなんだろう」と考えさせられたことがあるのではないのでしょうか。実は私も、その一人でした。

### ✿ 人の心を癒やす、励ましと慰め

私は五木寛之氏の著書が好きでよく読むのですが、『人間の関係』（ポプラ社）という本に、「励ましよりも慰めること」という項目があります。その中で五木氏はこのように述べています。

ある人間が絶望の淵にあったり、死を前にした時、その人の心を癒やす言葉には2つあると思っています。それは励ましと慰めです。仏教ではこれを「慈悲」と言います。

そして五木氏は「慈」（励まし）と「悲」（慰め）を次のように説いています。

激励というのは、立ち上がる余力があるのに、きっかけをつかめず、道の途中でしゃがみ込んでいる人の場合には、とても大きな力をもつものです。（中略）しかし、世の中には、もう励まされなくてもいい、という状況もあります。…このままそっとしておいてほしいと思う。もうどうにもならないと客観的に状況を判断し、悩んだ末に、死というものを見つめて静かに余生を生きていこうという決断をする人もいます。

### ✿ 相手を「受容・共感」ということ

ある利用者は、自殺念慮があり、波のような周期で「死んでしまいたい」と訴えていました。その言葉に対し、「そんなこと言わないで、元気を出して！」と声かけをする場面に出くわしたことがあります。介護関係者は、まだまだ人間の「死」というものを、どこかタブー視するところがあると思います。私は、利用者の「死にたい」を否定する理由とは何だろうと考えました。そして、これまでの経験から、2つの理



由が思い当たりました。

- ①慣れ親しみ信頼感のある利用者との別れ(個人的本音)
- ②大切な命を人為的に絶つことへの職務者としての責任(職業的建前)

その対象によって異なるでしょうが、介護現場では、「死」に直面した高齢者の嘆きや苦しみを「受容する」ことが、一体どのくらいできているのだろうかと考えさせられることが多々あります。

五木氏は「悲」について、次のように述べています。

子どものころ、顔にけがをして泣いて帰ってきた自分を、母が「痛いね、痛いね」と言いながら抱き寄せてくれた時、母が自分の痛みを半分引き受けてくれたように思えて、痛みが少し和らぐような気になった。

相手を100%「受容」し「共感」することが難しくても、その気持ちに近づくことはできると感じています。つまり、「受容と共感」は、する側(介護スタッフ)にその答えがあるのではなく、対象となる人(利用者)がどのように感じているか、というところが重要なのではないのでしょうか。これはやはりナイーブなテーマですが、「死にたい」を否定して励ますのではなく、「その言葉を発するほどつらく、苦しいのですね」と真っ直ぐに受け止めることが、私たちの役割だと思います。そうすると、冒頭に書いた「頑張ってる」の声かけは、前述の①にも②にも当てはまりません。結局のところ、大事なものは「今、目の前にいる利用者の心境を理解しようとするスタッフの姿勢」というところに行き着きます。私はまだ、この「受容と共感」の解釈の途上にあります…。

引用・参考文献

- 1) 五木寛之：人間の関係，ポプラ社，2007。

## 監査で指摘されやすい 計画書のポイントを徹底解説!

# 時間をかけないテクニック 通所介護計画作成方法

### 事例演習で流れを学習

丸山泰一氏 社会福祉士・介護支援専門員

社会福祉法人池上長寿園 特別養護老人ホーム糀谷 課長  
前・同法人たまがわグループ 在宅課長



福祉現場の生活指導員、ソーシャルワーカーを経て、平成16年より現職。長年、高齢者の在宅支援に携わっている経験から、通所介護サービス現場への理解が深い。平成13年からは早稲田速記医療福祉専門学校の非常勤講師として福祉教育にも携わる。現場に即した講義は分かりやすく、即、実践でき好評である。

## 通所介護計画、ケース記録、モニタリング表、 機能訓練計画をいかに効率よく作成するか!

### プログラム

★11147

- 1.通所介護計画書の作成の流れ  
1)新規申し込み  
2)居宅サービス計画(ケアプラン)の確認  
3)通所介護計画書原案の作成  
4)通所介護計画書原案、本人・家族の同意  
5)通所介護計画書の配布  
6)職員への周知
- 2.時間をかけない通所介護計画書・介護予防通所介護計画書の作成  
1)時間短縮を図るために  
①居宅サービス計画の活用  
②介護メニュー表の作成  
③記録書類の整備  
2)効率化を図るために  
①「生活全般の解決すべき課題(ニーズ)の書き方  
②「長期・短期目標」の設定の仕方  
③「援助内容」の立案方法  
④「期間」の設定  
3)効率的な更新・変更の方法
- 3.支援経過記録作成のポイント  
1)評価・引継ぎのしやすい記録方法  
2)効率的な記載のポイント
- 4.効果的なカンファレンス・モニタリング・評価の進め方  
1)ケースカンファレンスの方法  
2)モニタリングの流れ  
3)評価の記入方法
- 5.個別機能訓練計画書作成のポイント  
1)必要な記載内容  
2)通所介護計画書との整合性
- 6.介護支援専門員との連携  
1)サービス担当者会議  
2)職種の特長性
- 7.事例演習  
～通所介護計画書・介護予防通所介護計画書作成トレーニング  
実際の事例に基づき連の流れを学ぶ

岡山

10年 7/31 (土)  
10:00~16:00  
福武ジョリービル

東京

10年 8/7 (土)  
10:00~16:00  
内神田サニービル

仙台

10年 12/4 (土)  
10:00~16:00  
ショーケー本館ビル

参加料

本誌購読者 15,000円  
共に税込 一般 18,000円

誰でもできる効率化のポイントを  
指導するので、  
計画書作成業務に役立つ。



通所介護計画書の作成に当たっては、現場から「居宅ケアプランとの連動が分からない」「忙しいので時間をかけずに作成したい」といった悩みが聞かれ、思うようにできていないようです。

計画作成で重要なアセスメントの視点や記載方法から、ケース記録、モニタリング表、機能訓練計画書を含めた作成ポイントを解説し、効率化実現に向けてのテクニックを伝授します。